

5月・6月の管理ポイント



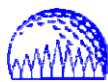
株式会社 トモグリーンケミカル

ホームページアドレス
<http://www.tomo-green.com/>

第93号

5月、6月は梅雨から夏に向けての準備として、グリーンの根を伸ばしておく時期です。

土壌の透水性、通気性を高めて、育ちやすい環境を整えていきましょう。



プライマーセレクト

梅雨の排水対策には...

5月は芝生の根をしっかりと伸ばす大切な時期です!!

グリーンの表層を少し乾燥気味にして、根に軽いストレスを与え下層にある水分まで伸ばさせます。

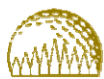
プライマーセレクトによりマトリックスフローを形成した土壌では、表層を乾燥状態にしても、一度の灌水で均一に水が浸透しますから安心して灌漑管理をして頂けます。

散水のポイントとしては、毎日軽く散水を行なう場合よりも(根域にストレスがかからない)、回数を減らして一度に十分な散水を行なった方が(根域に軽いストレスがかかる)、根域が深くなります。

6月は、梅雨のため土壌が飽和状態になります。

プライマーセレクト処理で余分な水を排水させましょう。

使用量：1~2ml/m² 散布水量：200ml~1ℓ/m² 散布回数：1ヶ月~1ヶ月半に1回



光合成細菌・サッチ・リムーバー

サッチ層の除去には...

梅雨前の更新作業時に**光合成細菌**と**サッチ・リムーバー**を組み合わせることによって、サッチを効率よく分解し、通気性の良いグリーンをつくりましょう。

光合成細菌 使用量：1~2cc 1ℓ/m²散布 月1~2回

サッチ・リムーバー 使用量：1~2g/m² 0.5ℓ/m²散布 使用回数：月1~2回 (光合成細菌の取り扱いには研究会制です)



コ・エンザ

梅雨時期のストレスのかかった芝生には...

梅雨時期は日照不足のため植物内の活性が低下し、芝生が軟弱になります。

コ・エンザ処理により、植物内の酵素反応を潤滑にし、弱った芝生の回復に努めましょう。

使用量：ベント1~2g/m² 1ℓ/m²散布 コウライ3~4g/m² 1ℓ/m²散布



ダイアジノンSLゾル・バイボン乳剤

害虫発生にあわせて...

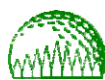
5月はシバオサゾウムシ、スジキリヨトウ、シバツトガ成虫が活動を開始します。

速効性の**バイボン乳剤**で防除しましょう。

6月中旬以降はセマダラコガネ、マメコガネ成虫が発生します。

更新作業にあわせて**ダイアジノンSLゾル**を処理し、若令幼虫のステージで防除しましょう。

使用量：ダイアジノンSLゾル 250倍 0.7~1ℓ/m²、バイボン乳剤 2000倍 0.3~0.5ℓ/m²



グリーンメカ・マリンパワー

日照不足を補うために、芝生や有用菌のえさとして...

梅雨は日照不足にともない、芝生の光合成が低下していきます(糖類生成量減少)。

黒糖、各種ミネラルの豊富な**グリーンメカ**で不足しがちな糖類を補ってあげましょう。

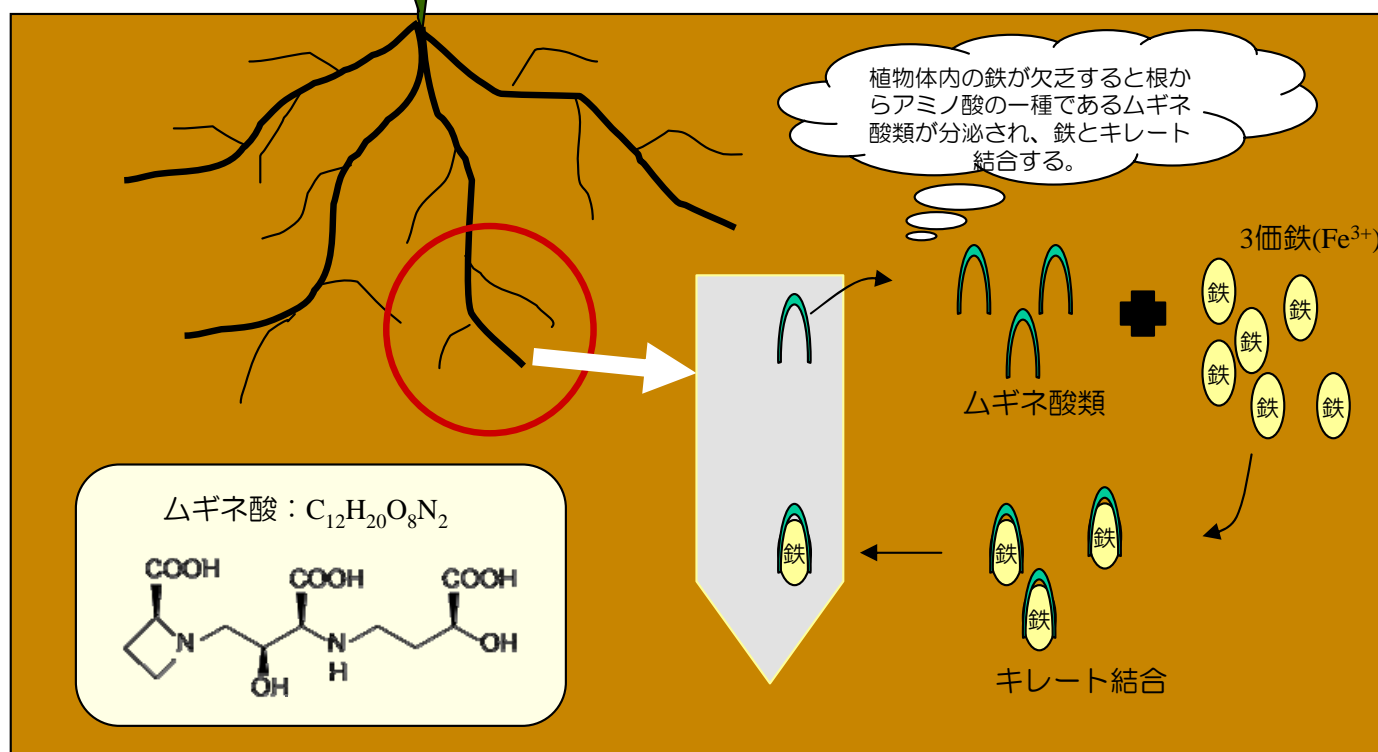
光合成細菌と**マリンパワー**を組み合わせることによって、嫌気性の土壌(排水の悪いどぶ臭い土壌)を改善し好気性の有用菌を定着させましょう。

使用量：グリーンメカ 5~10ml/m² 1ℓ/m²以上 マリンパワー 2~4ml/m² 1ℓ/m²以上

根は養分吸収のために色々な物質を分泌しています。

根は、土壌中の各種無機養分を吸収する重要な器官です。しかし、根が養分吸収のために各種物質を分泌していることはあまり知られていません。また、それは吸収する養分によって異なります。今回は、イネ科植物の鉄の吸収機構について紹介しましょう。

イネ科植物の場合



鉄が吸収されやすい時間帯

根から分泌されるムギネ酸は日周性があり、一般に夜明け後に、温度の上昇とともに2~3時間かけてゆっくり分泌され、鉄を可溶化(キレート化)して吸収します(草種により若干異なる)。つまり午前中の吸収量が多いことが推測されます。